

活用事例	5 9 土砂災害警戒情報が出た場合の隣接する学校との合同避難訓練 【特色】 保育所・小学校・中学校合同の一次及び二次避難場所への合同避難訓練		
学校名	岩国市立ほんごう保育園・本郷小学校・本郷中学校		
日時	平成25年6月12日(水) 10:50~11:40		
場所	本郷中グラウンド 本郷公民館	参加者	園児・児童・生徒・教職員

1 訓練のねらい

- (1) 梅雨末期及び台風シーズンの到来に際し、洪水・土砂災害に備えて、隣接する保育園・小学校と中学校が合同で防災訓練・学習を実施することで、園児・児童生徒や教職員の防災対応力を高める。
- (2) 防災教室等を実施することを通して、市の防災担当部局との十分な連携を図り、園や学校の防災体制を確立する。

2 訓練の概要

- 10:50 大雨・洪水警報発令、園長・校長協議
岩国市避難勧告発令基準土砂災害第1段階：保育園避難開始
山口県土砂災害降雨危険度レベル3：小中避難の必要有
- 11:00 避難指令(各校放送)
- 11:05 本郷中グラウンドへ避難完了・並び替え
①5、6年担任・中1女子・6年・5年・中1男子・中1担任
②1、2年担任・中3女子・2年・1年・中3男子・中3担任
③3、4年担任・中2女子・4年・3年・中2男子・中2担任
- 11:20 本郷公民館へ避難完了
- 11:25 本郷総合支所防災担当者のお話・校長講話
地区別帰宅法の確認・並び替え(神田・留セン・仲田・中山・今市・波野)
- 11:40 各校へ



中学生の間に小学生を挟んで、公民館へ避難



中学生をリーダーとして地区ごとに並び替え

3 訓練の成果と課題

【成果】

- ◇ 保育園・小学校・中学校が合同で避難訓練を実施して3年目であり、中学生が小学生・保育園児に声をかけ、優しくリードすることが、自然にできるようになってきている。
- ◇ 地区ごとに並び替えをすることで、同じ地区の中学生・小学生・保育園児が顔合わせを行うことができ、回を重ねるごとに同じ地区を意識した連帯感が高まっている。
- ◇ 本郷地区で一番の課題である、土砂災害の避難訓練・防災学習を行うことで、子どもたちの危機意識の向上につながっている。

【課題】

- ◆ 今後は、保育園・小学校・中学校だけでなく、地域と連携した防災教育を計画・実践したり、定期的に外部講師(専門家)を招いての防災学習を行ったりすることで、子どもたちのさらなる防災意識の向上・命を守る実践力の向上を図っていきたい。